

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○長崎県南部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体		推薦又は応募理由					
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業	年齢	性別	
							就業歴	主な漁業種類						
1	中立	有馬 理	60	男	弁護士	昭和57年4月～昭和61年3月 立教大学経済学部卒業 平成17年11月 司法試験合格 平成19年9月～平成25年2月 長崎県内の3事務所勤務弁護士 平成25年4月～令和6年5月 時津町ありま法律事務所代表 平成27年4月～令和3年3月 長崎県包括外部監査補助者 令和3年4月～令和6年3月 長崎県包括外部監査人 令和6年6月～現在 長崎市大同門法律事務所所属弁護士	—	—	長崎県弁護士会	中村 尚志	—	—	—	被推薦者は弁護士として17年の経験を有し、海区漁業調整委員会の所掌事項に関して、法律の専門家として中立的な立場からの確かな助言が可能と思われる。
2	漁業者	二島 雅秀	65	男	漁業 (漁協長)	昭和49年4月～昭和52年3月 鎮西学院高等学校 昭和52年4月～現在 漁業(延縄、刺網、底曳き) 平成23年6月～平成26年5月 大村市漁業協同組合理事 平成29年6月～令和2年5月 大村市漁業協同組合監事 令和3年6月～現在 新城認定こども園理事 令和5年7月～現在 大村市漁業協同組合代表理事組合長 令和5年7月～現在 大村湾をきれいにする会 大村支部長	47年	底曳き 一本釣り 延縄 刺網 採介藻	大村湾海区漁業協同組合長会	平野 重美	—	—	—	長年に渡り漁業に携わっており、漁業に関し豊富な知識と経験を有し、大村市漁業協同組合の代表理事組合長を務めるなど指導力に優れ、地元漁業の発展のためだけでなく、大村湾をきれいにする会の大村市部長や大村湾海区漁業協同組合長会の会員として大村湾全体の漁業についても問題意識を持たれていることから適任であることを認め推薦する。
3	漁業者	二島 雅秀	65	男	漁業 (漁協長)	昭和49年4月～昭和52年3月 鎮西学院高等学校 昭和52年4月～現在 漁業(延縄、刺網、底曳き) 平成23年6月～平成26年5月 大村市漁業協同組合理事 平成29年6月～令和2年5月 大村市漁業協同組合監事 令和3年6月～現在 新城認定こども園理事 令和5年7月～現在 大村市漁業協同組合代表理事組合長 令和5年7月～現在 大村湾をきれいにする会 大村支部長	47年	底曳き 一本釣り 延縄 刺網 採介藻	大村市漁業協同組合	二島 雅秀	—	—	—	昭和52年から現在まで漁業に従事され、長年の経験と発信力を生かし地域活動にも積極的に取り組まれ、地域の発展にもご尽力されている。 また、大村市漁業協同組合の代表理事組合長の現在、漁業者の高齢化・漁獲量の減少により組合経営が厳しい状況下、過去に例のない組合改革に取り組まれています。以上、長年の実績・指導力に優れていることから海区漁業調整委員会の委員に適任と判断し推薦する。
4	学経	岡村 隆英	78	男	団体職員 (漁協長)	昭和36年4月～昭和39年3月 長崎県立大村園芸高等学校 昭和49年8月～平成21年6月 佐世保市南部漁業協同組合職員 平成21年6月～平成24年7月 佐世保市南部漁業協同組合理事 平成24年7月～現在 佐世保市南部漁業協同組合代表理事組合長 平成25年5月～平成28年5月 佐世保市水産振興協議会監事 平成28年5月～令和4年6月 佐世保市水産振興協議会会長 平成28年6月～令和4年6月 石木ダム建設促進佐世保市民の会理事 平成29年11月～令和4年6月 佐世保市環境政策審議会委員 令和元年7月～令和4年6月 佐世保市地方卸売市場運営協議会委員 令和3年4月～現在 長崎県南部海区漁業調整委員 令和3年6月～現在 日本漁船保険組合支所運営委員 令和4年6月～現在 佐世保市栽培漁業推進協議会副会長 令和6年7月～現在 大村湾栽培漁業推進協議会理事	—	—	大村湾海区漁業協同組合長会	平野 重美	—	—	—	昭和49年から長年に渡り漁協業務に職員として携わっており栽培漁業、資源管理等、豊富な知識と経験を有し、また、平成24年からは代表理事組合長として就任されており指導力に優れ、地元漁業の発展のためだけでなく、大村湾海区漁業協同組合長会の会員として大村湾全体の漁業についても問題意識をもたれていることから適任であることを認め推薦する。
5	学経	岡村 隆英	78	男	団体職員 (漁協長)	昭和36年4月～昭和39年3月 長崎県立大村園芸高等学校 昭和49年8月～平成21年6月 佐世保市南部漁業協同組合職員 平成21年6月～平成24年7月 佐世保市南部漁業協同組合理事 平成24年7月～現在 佐世保市南部漁業協同組合代表理事組合長 平成25年5月～平成28年5月 佐世保市水産振興協議会監事 平成28年5月～令和4年6月 佐世保市水産振興協議会会長 平成28年6月～令和4年6月 石木ダム建設促進佐世保市民の会理事 平成29年11月～令和4年6月 佐世保市環境政策審議会委員 令和元年7月～令和4年6月 佐世保市地方卸売市場運営協議会委員 令和3年4月～現在 長崎県南部海区漁業調整委員 令和3年6月～現在 日本漁船保険組合支所運営委員 令和4年6月～現在 佐世保市栽培漁業推進協議会副会長 令和6年7月～現在 大村湾栽培漁業推進協議会理事	—	—	佐世保市南部漁業協同組合	岡村 隆英	—	—	—	栽培漁業及び資源管理等については、漁協の業務を通じ、永年に渡り携わってきたこと、また、漁業の振興については、大村湾、佐世保湾内でその一員となり、活動をしてきたことから、資源管理や漁業経営に関する多くの知識・経験を有し、海区漁業調整委員会の学識経験者としての活躍が期待されるため。
6	漁業者	菊地 彰彦	67	男	漁業 (漁協長)	昭和39年4月～昭和45年3月 瀬川小学校 昭和45年4月～昭和48年3月 瀬川中学校 昭和48年4月～昭和51年3月 長崎水産高校 昭和51年4月～昭和53年3月 長崎水産高校専攻科 昭和53年3月～昭和54年11月 海外漁業 第65海正丸(カツオ一本釣り) 昭和55年1月～昭和56年7月 第三久勝丸(カツオ一本釣り) 昭和57年1月～昭和57年12月 第28盛秋丸(カツオ一本釣り) 昭和58年1月～平成31年4月 瀬川汽船(株) 平成元年6月～現在 地曳網漁業 平成13年6月～平成25年6月 瀬川漁業協同組合理事 平成25年6月～現在 瀬川漁業協同組合代表理事組合長 令和3年4月～現在 長崎県南部海区漁業調整委員	39年	地曳網漁業	大村湾海区漁業協同組合長会	平野 重美	—	—	—	水産高校を卒業後、長年に渡り漁業に携わっており平成元年からは地曳網漁業を営んでおられ漁業に関し豊富な知識と経験を有し、平成25年からは瀬川漁業協同組合の代表理事組合長を務めるなど指導力に優れ、地元漁業の発展のためだけでなく、大村湾海区漁業協同組合長会の会員として大村湾全体の漁業についても問題意識を持たれていることから適任であることを認め推薦する。

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○長崎県南部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者										推薦した者又は団体					推薦又は応募理由
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業	年齢	性別				
							就業歴	主な漁業種類									
7	漁業者	菊地 彰彦	67	男	漁業 (漁協長)	昭和39年4月～昭和45年3月 瀬川小学校 昭和45年4月～昭和48年3月 瀬川中学校 昭和48年4月～昭和51年3月 長崎水産高校 昭和51年4月～昭和53年3月 長崎水産高校専攻科 昭和53年3月～昭和54年11月 海外漁業 第65海正丸(カツオー一本釣り) 昭和55年1月～昭和56年7月 第三久勝丸(カツオー一本釣り) 昭和57年1月～昭和57年12月 第28盛秋丸(カツオー一本釣り) 昭和58年1月～平成31年4月 瀬川汽船(株) 平成元年6月～現在 地曳網漁業 平成13年6月～平成25年6月 瀬川漁業協同組合理事 平成25年6月～現在 瀬川漁業協同組合代表理事組合長 令和3年4月～現在 長崎県南部海区漁業調整委員	39年	地曳網漁業	瀬川漁業協同組合	菊地 彰彦	—	—	—	推薦する菊地氏は、地曳網漁業代表者を平成元年度より父親から引継ぎ、今現在に至っている。また、平成13年度より瀬川漁協の理事となり平成25年度より組合長である。 地曳網漁業は、4経営体が一漁場で輪番操業しており、漁場利用については4経営体で協議を行い、また、資源管理の為、協議により一斉休業期間を設けたりしている。地曳網漁業は、伝統ある漁法であり漁業従事者も多数おり漁協及び地域にとって大変重要な漁業である。 このように菊地氏は漁業の豊富な経験とバランスの取れた調整力により、海区漁業調整委員会の委員として漁業の発展に活躍することが期待されるため推薦する。			
8	漁業者	吉本 政信	64	男	漁業 (漁協長)	昭和54年3月 長崎県立島原高等学校卒業 昭和55年6月 島原市中央漁業協同組合加入 昭和57年4月 島原市中央漁業協同組合青年部部長就任 平成2年4月～平成9年6月 島原市湊漁業協同組合青年部部長歴任 平成7年6月～平成9年6月 県南二区漁協青年部協議会副会長歴任 平成23年6月 島原漁業協同組合理事就任 平成26年6月～現在 島原漁業協同組合代表理事組合長歴任 平成26年6月～現在 有明海栽培漁業推進協議会会長歴任 平成26年6月～現在 公財)有明海水産振興基金理事長歴任 平成27年4月 特定非営利活動法人長崎県水難救済会理事就任 令和3年4月 長崎県南部海区漁業調整委員就任 平成4年5月 長崎県南北高海区漁業協同組合会長就任	44年	小型底びき網漁業	南北高海区漁業協同組合会長	吉本 政信	—	—	—	令和6年8月23日に開催された南北高海区漁業協同組合会長会において現職の野田組合長・吉本組合長、新しく島原半島南部漁協の植木組合長が漁業者委員として満場一致で推薦された。また、現職の布津町漁協の山外参事が学識委員として満場一致で推薦された。 吉本氏は島原漁協の代表理事組合長として組合間の諸問題や操業ルール等を取りまとめるなど、リーダーとして島原漁協の舵取りを行っている。 現在は南北高海区漁業協同組合会長会の会長を務め、有明海に限らず、長崎県全体の漁業調整を積極的に取り組まれている。			
9	漁業者	野田 清一	75	男	漁業	昭和40年3月 小長井町立小長井中学校卒業 昭和40年4月 漁業に従事 昭和63年1月～令和2年3月 長崎県指導漁業士歴任 平成6年6月～平成8年6月 県南地区漁業士会会長 平成3年6月 小長井町漁業協同組合監事就任 平成9年6月 小長井町漁業協同組合理事就任 平成20年6月～平成30年6月 県南地区漁業士会会長歴任 平成22年7月～平成30年6月 長崎県漁業士連絡協議会会長歴任 平成24年8月～現在 長崎県南部海区漁業調整委員歴任 平成18年4月～平成28年3月 社会福祉法人遠竹保育園理事、理事長 令和3年6月 諫早湾漁業協同組合組合長就任	59年	採介藻漁業 マガキ養殖	南北高海区漁業協同組合会長	吉本 政信	—	—	—	令和6年8月23日に開催された南北高海区漁業協同組合会長会において現職の野田組合長・吉本組合長、新しく島原半島南部漁協の植木組合長が漁業者委員として満場一致で推薦された。また、現職の布津町漁協の山外参事が学識委員として満場一致で推薦された。 野田氏は若い頃より漁村地域のリーダーとして系統団体の役員や県南地区漁業士会の会長などを歴任され漁業技術の向上、漁業振興や魚食普及などにも尽力され、現在は諫早湾漁協の組合長として組合員の資源管理や漁業経営の諸問題にも取り組んでおられます。また、南北高海区漁業協同組合会長会の監事も務められ、海区間の諸問題にも尽力されている。			
10	漁業者	植木 一夫	74	男	漁業 (漁協長)	昭和41年9月 島原中央高等学校中退 昭和44年4月～昭和63年12月 太平洋海運(株) 平成元年1月～ 漁業に従事(口之津町漁業協同組合加入) 平成25年6月～ 島原半島南部漁業協同組合理事就任 令和6年5月～ 島原半島南部漁業協同組合代表理事就任	39年	刺網漁業 一本釣り 採介藻 ひじき養殖	南北高海区漁業協同組合会長	吉本 政信	—	—	—	令和6年8月23日に開催された南北高海区漁業協同組合会長会において現職の野田組合長・吉本組合長、新しく島原半島南部漁協の植木組合長が漁業者委員として満場一致で推薦された。また、現職の布津町漁協の山外参事が学識委員として満場一致で推薦された。 植木氏は、平成元年より漁業に従事し、平成25年より島原半島南部漁協の理事として漁業者間の漁業調整や資源管理に取り組み、栽培漁業では稚魚の放流等率先して自己所有船を出して放流作業に携わるなど地域のリーダーとして尽力されている。 現在は島原半島南部漁協の組合長として組合員を取りまとめておられる。			
11	学経	山外 正二	60	男	団体職員	1982年3月 長崎県立島原工業高等学校建築課卒業 1992年4月～2001年4月 布津町漁業協同組合販売課入組 2001年4月～2018年4月 布津町漁業協同組合総括責任者 2018年4月～ 現在 布津町漁業協同組合参事 2021年4月～ 現在 長崎県南部海区漁業調整委員会委員	—	—	南北高海区漁業協同組合会長	吉本 政信	—	—	—	被推薦者は、布津町漁業協同組合の参事として、有明海区の漁業に長年にわたり携わり、現場にも精通している。 本県の水産調整に理解があり、課題等についても精通し高い見識を有している。 令和3年からは長崎県南部海区漁業調整委員会委員を務めており、学識経験委員として推薦する。			

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○長崎県南部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者										推薦した者又は団体					推薦又は応募理由
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業	年齢	性別				
							就業歴	主な漁業種類									
12	中立	吉谷 均	72	男	無職	昭和45年3月 長崎県立長崎水産高等学校（水産増殖科）卒業 昭和45年4月～ 島原市農林水産課水産係（水産技術）奉職 平成18年1月～平成20年6月 水産課長 平成20年7月～平成21年3月 農林水産課理事 平成21年4月～平成22年3月 農林水産課知事兼農業委員会理事（農林水産課分室・農業委員会分室） 平成22年4月～平成23年3月 産業振興部農林水産グループ参事（耕地水産班長） 平成23年4月～平成24年3月 水道局長 平成24年3月 定年退職 平成26年6月～平成29年6月 第9期長崎県海面利用県南地区協議会（学識）（会長） 平成28年9月～令和3年3月 第21期長崎県南部海区漁業調整委員会委員（公益） 令和3年4月～現在 第22期長崎県南部海区漁業調整委員会委員（中立）（会長）	—	—	島原市	古川 隆三郎	—	—	—	島原市の水産技術職員として41年の長期にわたり水産行政に従事、養殖漁業や漁船漁業の振興を図るとともに、旧国見町から口之津町までの市、町及び管内漁業協同組合で組織された有明水産振興協議会の事務局、事務局長として長年行政と漁業協同組合との調整を図るなど栽培漁業並びに資源管理型漁業の振興に尽力。 また、長崎県海面利用県南地区協議会委員（会長）としての経験と現在、長崎県南部海区漁業調整委員会委員（中立委員）会長として漁業調整に取り組んでおり、引き続き中立委員として適任と思われるので推薦します。 なお、海区漁業調整委員会の所掌に属する事項について利害関係は有しておりません。			
13	漁業者	鳥越 一男	68	男	漁業（漁協長）	昭和55年4月～ 長崎市戸石漁業協同組合加入 令和6年6月～ 長崎市たちばな漁業協同組合理事 令和6年6月～ 長崎市たちばな漁業協同組合代表理事組合長 令和6年6月～ 橋湾栽培漁業推進協議会副会長 令和6年6月～ 長崎地区沿岸協会副責任者 令和6年9月～ 長崎市表彰審査委員会 委員	44年	小型機船底曳網漁業 介類養殖、潜水器漁業	西彼海区漁業協同組合長会	柏木 俊彦	—	—	—	鳥越一男氏は、地元の漁業を学ぶ傍ら、潜水会社を設立し全国の漁港工事を請け負ってきた経緯がある。現在は小型機船底曳網漁業を営んでいるが、潜水士の知識と経験を活かし、ガンガゼ駆除など、積極的に地域水産資源保護に取り組んでいる。さらには、ウニの海上養殖を学び、水産資源の有効活用にも取り組み実証化に至っている。 これらの事から、漁業に関する幅広い見識を有し多角的視点から意見が期待できるため、適任であると判断し、推薦いたします。			
14	漁業者	小林 一久	61	男	漁業（漁協長）	昭和57年3月 長崎県立長崎南商業高等学校卒業 昭和57年4月～ 小型機船底曳網漁業 平成28年6月～ 長崎市茂木漁業協同組合代表理事組合長 平成28年7月～ 長崎県JF共済推進本部運営委員会運営委員 平成28年8月～ 長崎県南部海区漁業調整委員会委員 平成29年4月～令和6年6月 日本漁船保険組合長崎県支所運営委員 平成30年1月～ 橋湾漁業振興対策協議会副会長 平成30年10月～ 橋湾栽培漁業推進協議会会長 平成30年10月～ 橋湾栽培漁業推進基金理事長 令和2年10月～ 長崎地区沿岸協会会長	42年	小型機船底曳網漁業	西彼海区漁業協同組合長会	柏木 俊彦	—	—	—	小林一久氏は、平成28年に長崎市茂木漁業協同組合の代表理事組合長に就任し、組合経営において事業改革と経営基盤の充実に取り組むとともに、橋湾における漁業調整、放流による資源管理に努める等、漁業現場に精通し、幅広い識見を有しています。 西彼海区漁業協同組合長会においても、漁業問題に対して客観的に判断し優れた調整能力を発揮されています。 平成28年からは長崎県南部海区漁業調整委員会委員に就いており、地域代表として適任であると判断し、推薦いたします。			
15	漁業者	岡部 聖二	59	男	漁業（漁協長）	昭和58年3月 長崎県立長崎水産高等学校卒業 昭和58年4月～昭和60年4月（株）魚棚水産（神戸市）研修の為入社 昭和60年4月～現在（有）首丸水産 平成10年4月～現在 長崎県青年漁業士・指導漁業士 平成10年4月～平成16年3月 野母崎三和漁協青壮年部部长 平成11年4月～平成16年3月 長崎県漁協青壮年部連合会理事、書記長、副会長 平成16年6月～平成25年7月 野母崎三和漁協代表監事 平成25年6月～令和3年6月 野母崎三和漁協専務理事 令和3年6月～現在 野母崎三和漁業協同組合代表理事組合長 平成16年4月～現在 長崎県南部海区漁業調整委員会公選委員・漁業者委員 平成21年6月～現在（一財）長崎市学校給食会会長 平成24年4月～現在（一財）長崎市地産地消振興公社理事・評議員	39年	中型まき網漁業	西彼海区漁業協同組合長会	柏木 俊彦	—	—	—	岡部聖二氏は、地域において磯焼け対策等の資源管理に積極的に取り組むなど、海洋環境・水産資源に対する関心が高く、漁業調整委員としてマジ・イワシ・サバ類だけでなく、新たに追加される魚種のTAC制度の説明会や研修会、意見交換会に数多く参加し、制度運用において漁業者の意見を反映できるよう取り組んでいます。 また、漁業調整についても、幅広い見識を活かし他県及び他漁協との調整に積極的に取り組んでいるほか、漁協経営においても、漁獲物の付加価値向上を目指し旋網漁業における活魚への取り組みにより安定経営を行うなど、その実績から適任であると判断し、推薦いたします。			
16	漁業者	本木 隆光	56	男	漁業（漁協長）	昭和62年3月 長崎県立西彼杵高等学校卒業 昭和62年4月～現在 一本釣り漁業 平成15年7月～平成18年7月 長崎県漁協青壮年部連合会副会長 令和元年6月～現在 大瀬戸町漁業協同組合理事 令和3年10月～現在 大瀬戸町漁業協同組合代表理事組合長 令和6年6月～現在 日本漁船保険組合長崎県支所運営委員	37年	一本釣り 延縄漁業	西彼海区漁業協同組合長会	柏木 俊彦	—	—	—	本木隆光氏は、令和3年に大瀬戸町漁業協同組合の代表理事組合長に就任し、組合経営において事業改革と経営基盤の充実に取り組むとともに、指導漁業士としても精力的に活動し、地域漁業の発展に大きく貢献しておられます。 また、イサキの一本釣り漁業を主に延縄、曳縄漁業を広範囲にわたり周年操業していることから西彼北部海域を中心に地域漁業の実態に精通しており、その経験をもとに西彼海区漁業協同組合長会においても漁業問題に対して優れた調整能力を発揮されています。以上のことから、地域代表として適任であると判断し、推薦いたします。			

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○長崎県南部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者						推薦した者又は団体					推薦又は応募理由	
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業	年齢		性別
							就業歴	主な漁業種類						
17	中立	柳村 智彦	67	男	団体役員	昭和47年4月～昭和50年3月 長崎県立長崎東高等学校 昭和51年4月～昭和55年3月 九州大学農学部 昭和55年4月 長崎県庁入庁 平成21年4月～平成25年3月 水産部資源管理課長 平成25年4月～平成28年3月 水産部水産振興課長 平成28年4月～平成29年3月 総合水産試験場長 平成29年10月～現在 長崎県旋網漁業協同組合専務理事	—	—	西彼海区漁業協同組合長会	柏木 俊彦	—	—	—	柳村智彦氏は、長崎県庁で水産行政に37年間従事し、在職中は県全体の漁業調整、組合指導、養殖振興、栽培・資源管理、水産物流通加工等の業務に携わっている。 特に、漁業調整に係わる業務については12年以上携わっており、漁業調整委員会事務局職員としても9年勤めている。 また、総合水産試験場長も歴任され、資源管理を含む幅広い分野の試験研究の知識も有しておられることから、海区漁業調整委員会の中立委員としての活躍が期待されるため、当組合長会から推薦するもの。
18	学経	藤野 美由紀 (旧姓：広瀬)	47	女	大学教員	1993年4月～1996年3月 国立京都教育大学附属高等学校 1998年4月～2002年3月 北海道大学水産学部 海洋生産システム学科 2002年4月～2007年3月 北海道大学大学院 環境生物資源科学専攻 2007年4月～2009年2月 独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所研究支援職員 2009年3月～2011年8月 韓国 全南大学校水産学部海洋技術学科 招聘教授 2012年12月～2015年6月 JICA モロッコ王国小型浮魚調査能力強化プロジェクト 現地補助研究者 2017年9月～2018年2月 国立研究開発法人水産研究・教育機構 西海区水産研究所 研究支援職員 2018年3月～現在 国立大学法人長崎大学 水産・環境科学総合研究科 准教授 2022年4月～現在 日本水産工学会 総務幹事 2023年4月～現在 長崎県海面利用協議会委員	—	—	西彼海区漁業協同組合長会	柏木 俊彦	—	—	—	被推薦者は、西海区水産研究所在籍時には日本海（東シナ海）における浮魚資源調査に従事され、現在在籍している長崎大学においても学生への水産教育の傍ら、魚類資源の移動生態等の研究に取り組んでおられ、資源管理に関する知見を十分有していると思われる。 また、令和5年4月からは長崎県海面利用協議会の委員として遊漁と漁業の調整にも携わっておられ、海区漁業調整委員会の学識経験委員としての活躍が期待されるため、当組合長会から推薦するもの。